

思いやり、優しく、楽しくライオンズ

松浦函館北斗ライオンズクラブ会長の走り書き 1 H19.11.吉日

《気がつけば早くも4ヶ月経過》

ライオンズの新入学始まりは7月1日。思えば松浦丸ピカピカの1年生役員同士は「不安と期待」に胸ふくらませて出航しました。7月4日の初例会は緊張感でいっぱいの中、3名の「おニュー会員」入会式セレモニーがあり、あっという間にフィニッシュ。出だしから15分延長例会だったが、盛り上がった結果だと自己満足。(何事もプラス思考するのが小職の特性)

7月27日の恒例チャリティービアーパーティ。300人以上の市民が会場いっぱいに駆けつけて、ダンスと食べ飲み「ひととき」を満喫した様相。実行委員長はじめライオンこぞって、パーティーを盛り上げる機敏な動きを見て「ライオンズここにあり」と小職もサプライズ。

8月19日は初野外例会。大沼ワールド温泉牧場で家族ぐるみで、パークゴルフに興じました。絶好のアウトドア日和。珍プレー、好プレー、猛打プレーアラカルトショーがてんこ盛り。汗したあとのジングスカンに舌鼓(したづつみ)。戦い済んでの表彰式。成績、うまい人もそうでない人も笑顔が満ち満ち。

8月25日小樽LC50周年記念式典。3役副会長有志6人で初めての「対外試合」。本番前日から札幌入りしているしもあり、遠路はるばる奉仕の精神そのものには感謝。正に思いやり精神を猪突猛進まっしぐら。

9月は市民PG大会と、2回目の入会式例会。さらにガバナー公式訪問と矢継ぎ早に年間行事が目白押し。小職はいずれの行事も、体力気力が続く限り努力の「重箱」を重ね合わせる覚悟ができております。だが、しかしながら、待てよ。行事はいずれも独りよがりではいけない。すべてのライオンが自主参加。サポート体制が不可欠、回避の協業コラボレーションあつての特産物。

小職今、木村耕一著の「思いやりの心」を読書中です。昔から日本人の思いやり精神は「座礁したトルコの戦艦乗組員を救助した村民」「第2代徳川将軍秀忠の家来に対する思いやり」「二の宮金次郎の思いやり政治」など、「思いやりの心」は日本人の専売特許であることを力説した名著であると思います。

叱責されるより、ほめられたほうがヤル気を出す。冷たくされるより、優しく育った子供は「思いやりの心」が旺盛。など「思いやり」の語彙(ごい)が死語の昨今。小職は昔も今も、今後未来永劫「思いやりの心」にこだわりを持ちます。「思いやりの心」は相思相愛の人間関係を構築。強いては「恒久平和」の礎(いしずえ)を醸成できる事を、確信している今日この頃です。(続)

思いやり、優しく、楽しくライオンズ

松浦函館北斗ライオンズクラブ会長の走り書き 2 H20.4.吉日

《気がつけば4月選挙会例会》

1月行く、2月逃げる、3月去る。そして気がつけば選挙会の「4月例会」。「冬来たりなば春遠からじ」と思いきや、あっという間の「春」到来！昨年7月、松浦丸執行部をスタートして「思いやり優しく楽しくライオンズ」を、ただひたすら「(とおぼえ)遠吠え」してきました。

少なくとも小職は「楽しみました」。我が北斗ライオン諸兄面々皆々様方も「お楽しみ」していることが、小職には垣間見ることができました。手前味噌でもいいのです。所詮人生80年余。「生老病死」人はおギャーと生まれたときから四苦八苦して苦勞と悲しみを背負って死ぬ運命をたどる「雑食」動物です。1年間のライオン執行部人生は、わずか人生80年分の1です。あと少し、松浦丸執行部を楽しませてください。

お待ち兼ね北斗ホームページが再開しました。IT(アイティー)関係の機器には、性格が千差万別「(IT)相手」があります。時として、付き合うのに気を使う場合もあります。久保ライオンと小野ライオンが孤軍奮闘してくれました。これからは、高木事務局員が「クラブの出来事」をタイムリーに情報公開してくれるはずです。どしどし投稿をしてください。

《昨年12月クリスマス例会で新入会員余興アトラクション見事に復活！》
《3月例会で46年の北斗例会史上初めて西尾・函館市長がゲストスピーチ》
《3月少年少女(だと思ふ)武道大会大盛況》などなど、「エキサイティング」な出来事を矢継ぎ早に経験できたこと。会長冥利に尽きます。ライオン皆々様に感謝です。

現職執行部在任期間残り3ヶ月弱。4月29日から2日間、函館地区大会が「クライマックス」。この大会を、在函ホストクラブとして大成功するために「大同団結」しましょう！

6月交替例会まで執行部として楽しみながらも、「油断」しないで責任をキッチリ果たしたいと思う今日この頃です。最後まで「駄洒落オヤジ」の代名詞は変わりません。どうか「あんた(駄洒落)だれ？」と言わないで、遠慮しないで、隅からすみまで「ズズズいーっと」暖かく手を差し伸べて、もらえることをご期待申し上げます。(了)